

市立芦屋病院

血液・腫瘍内科 血液専攻医(後期研修)カリキュラム ---2014 年度版---

はじめに

当院は日本血液学会認定血液専門医 3 名を擁する日本血液学会血液研修施設です。当院で扱う血液疾患は白血病・リンパ腫・骨髄腫他、再生不良性貧血・特発性血小板減少性紫斑病など多岐にわたり、臨床研修上必須の血液疾患は網羅できます。当院にて血液専攻医として後期研修を行うことにより、血液専門医としての十分な素養を身に付けることが可能であり、さらに専門医取得の条件を満たせば、日本血液学会認定血液専門医の受験資格を得ることができます。

到達目標

1. 血液疾患の病因・病態について理解している。
2. 血液疾患を適切な検査を行うことにより診断し、適切な治療法を選択できる。
3. 抗癌剤や免疫抑制剤など治療薬について十分な知識を持つ。
4. 血液疾患およびそれに対する治療に伴う合併症に適切に対処できる。
5. 安全かつ適正な輸血療法を施行できる。
6. 造血幹細胞移植の適応を決定できる。

研修体制

1. 当院は日本血液学会血液研修施設である。
2. 研修責任者：松梨 達郎 血液内科部長 日本血液学会認定血液専門医
指導医：西浦 哲雄 副病院長 日本血液学会認定血液専門医・指導医

研修コース

初期研修終了者を対象に 3 年間の 1 貫した血液疾患全般の診断・治療研修を基本とする。

研修内容

1. 診察：リンパ節腫脹、出血傾向
2. 検査：血算、凝固検査、末梢血塗抹標本鏡検、骨髄塗抹標本鏡検
細胞表面マーカー解析、染色体解析、遺伝子解析、画像診断
3. 手技：骨髄穿刺・生検、腰椎穿刺
4. 治療：抗癌剤療法・免疫抑制剤療法と支持療法、輸血療法、無菌室管理、
抗菌剤治療、末梢血幹細胞移植

5. 血液疾患の診断および最善の治療法の選択
6. 患者・家族に対する説明
7. 症例発表

外来・当直などの業務は内科全体のスケジュールの一環として行うが、当科の症例検討会、外科との合同症例検討会を週1回行っている。

専門医の取得

日本血液学会認定血液専門医